

看護部事例検討会

去る11月9日、平成25年度看護部事例検討会が開催されました。

今年度は、看護部各部署から17事例が3分科会形式で発表され、約70名の看護職者が参加しました。

看護部では、毎年8月頃から事例検討会に向けて準備を始め、各部署のチームリーダー、小グループリーダーを中心として事例をまとめ上げます。

今年度は、認知症、高次脳機能障害、せん妄状態となった患者看護の振り返りや、患者家族の意志決定支援、緩和ケア、在宅看護事例、摂食や口腔ケアといった基本的看護技術の提供に関する事例、暴言・暴力への対応事例、外国人患者の不安軽減を目的としたコミュニケーションの工夫に関する事例等、17事例が発表されました。



各分科会は、各事例を丹念に読み込んだ座長がファシリテーターの役割を存分に発揮し、

アットホームな雰囲気が進められました。

参加者からは、自部署では経験できない

看護を知る事で、次の看護に役立てることができる、事例を通して看護者同士が学びを共有できる、他部署の頑張りは良い刺激になる等の感想が寄せられました。

私たちが常日頃提供している看護を一つ一つ丁寧に振り返る事ができる事例検討会は、今後、当院の看護の質の向上に貢献することと思います。

(看護部教育委員会 太田美緒)

